

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
 最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
 (こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

適用害虫と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びその有効成分含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期※	総使用回数※	使用方法
レタス	ケラ、ネキリムシ類	6~9g/平方メートル	は種時又は植付時	2回以内	土壌混和
	コガネムシ類幼虫		植付前		
キャベツ	ケラ、ネキリムシ類、コガネムシ類幼虫	30日前まで	植付時	本剤:2回以内、ダイアジノン:2回以内(粒剤の生育期の処理は1回以内)	
カリフラワー、ブロッコリー	トマト、ピーマン、とうがらし類	6~8g/平方メートル		本剤:1回、ダイアジノン:3回以内(生育期は2回以内)	
なす				本剤:1回、ダイアジノン:3回以内(粒剤の生育期の処理は2回以内)	
きゅうり	タネバエ、ケラ、ネキリムシ類、ウリハムシ幼虫、コガネムシ類幼虫			本剤:1回 ダイアジノン:2回以内	
すいか、メロン、かぼちゃ				本剤:1回、ダイアジノン:4回以内(粒剤の生育期の処理は3回以内)	
ねぎ、わけぎ、あさつき	タネバエ、コガネムシ類幼虫			本剤:1回、ダイアジノン:2回以内	
たまねぎ	タネバエ、タマネギバエ、コガネムシ類幼虫、ケラ、コオロギ				
はくさい	ケラ、ネキリムシ類、コガネムシ類幼虫	6g/平方メートル	は種時	1回	土壌混和
だいこん、はつかだいこん	ケラ、ネキリムシ類、タネバエ、コガネムシ類幼虫	6~8g/平方メートル		本剤:1回、ダイアジノン:2回以内(生育期は1回以内)	
豆類(種実)	ケラ、タネバエ、コガネムシ類幼虫	6~8g/平方メートル	植付前及び収穫30日前まで	本剤:1回、ダイアジノン:だいちは6回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は5回以内(生育期の処理は4回以内))、あずきは4回以内(種子粉衣は1回以内、は種時の処理は1回以内、生育期の処理は3回以内)、いんげんまめは3回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)、らっかせいは1回、上記以外の豆類(種実)は4回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は3回以内)	
かんしょ(さつまいも)	コガネムシ類幼虫	6~9g/平方メートル		本剤:3回以内、ダイアジノン:3回以内(マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内)	
ばれいしょ(じゃがいも)	ケラ、ネキリムシ類			本剤:1回、ダイアジノン:3回以内(マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内)	
				本剤:1回、ダイアジノン:3回以内(植付前の土壌混和は1回以内)	

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用薬量は全面処理の場合の薬量なので、植え溝にまくなど一部しか処理しない場合は処理面積にあわせて処理薬量を減らしてください。
- 種時、植付時、植付前に土壤全面又は植え溝に処理し、土壤とよく混ぜ合わせてください。
- コガネムシ類幼虫に対して作物の生育期に使用する場合は植え溝に処理し軽く土を混和してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

薬剤の使用に関する注意事項